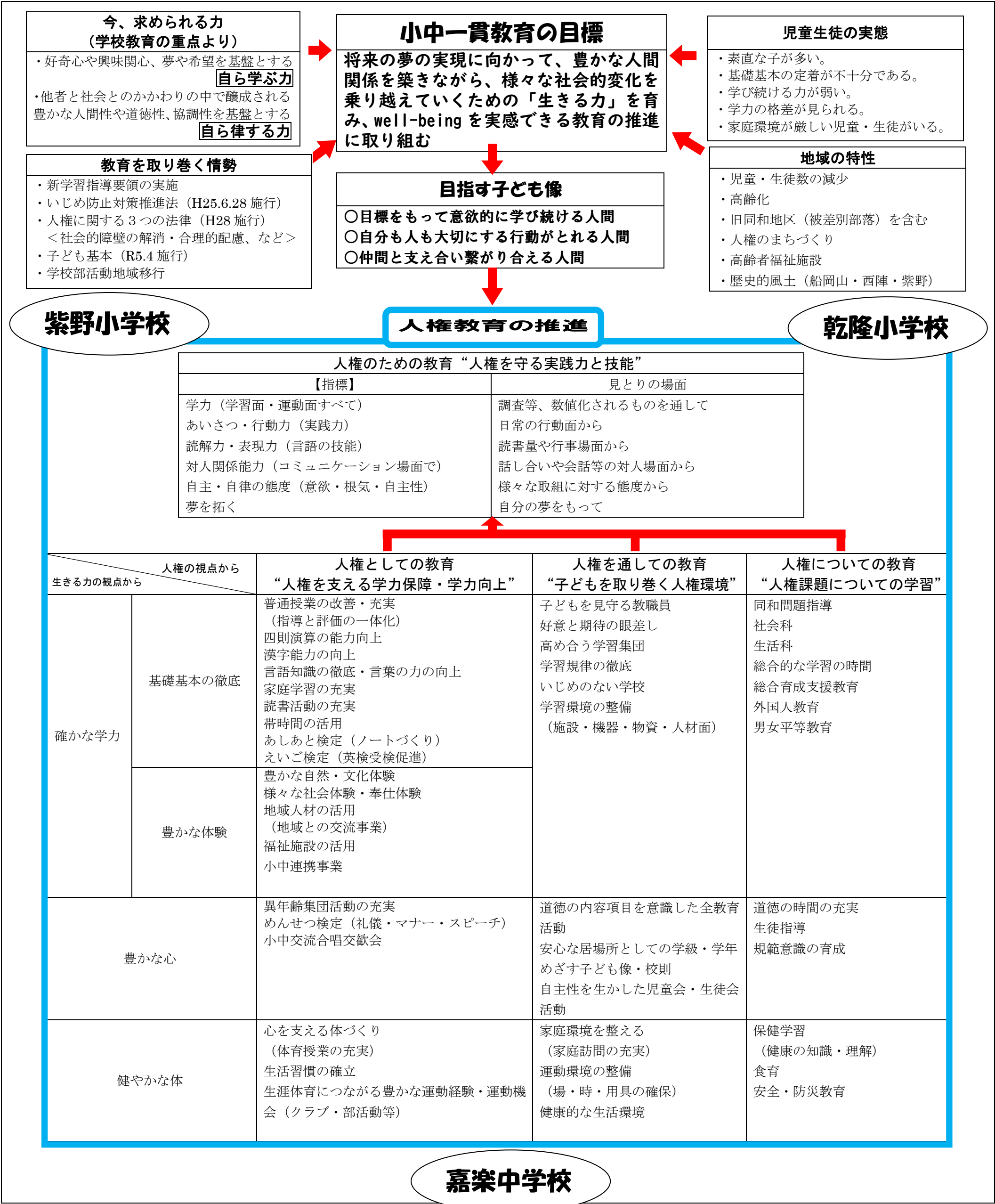


令和7年度 嘉楽中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



軸となる取組・活動

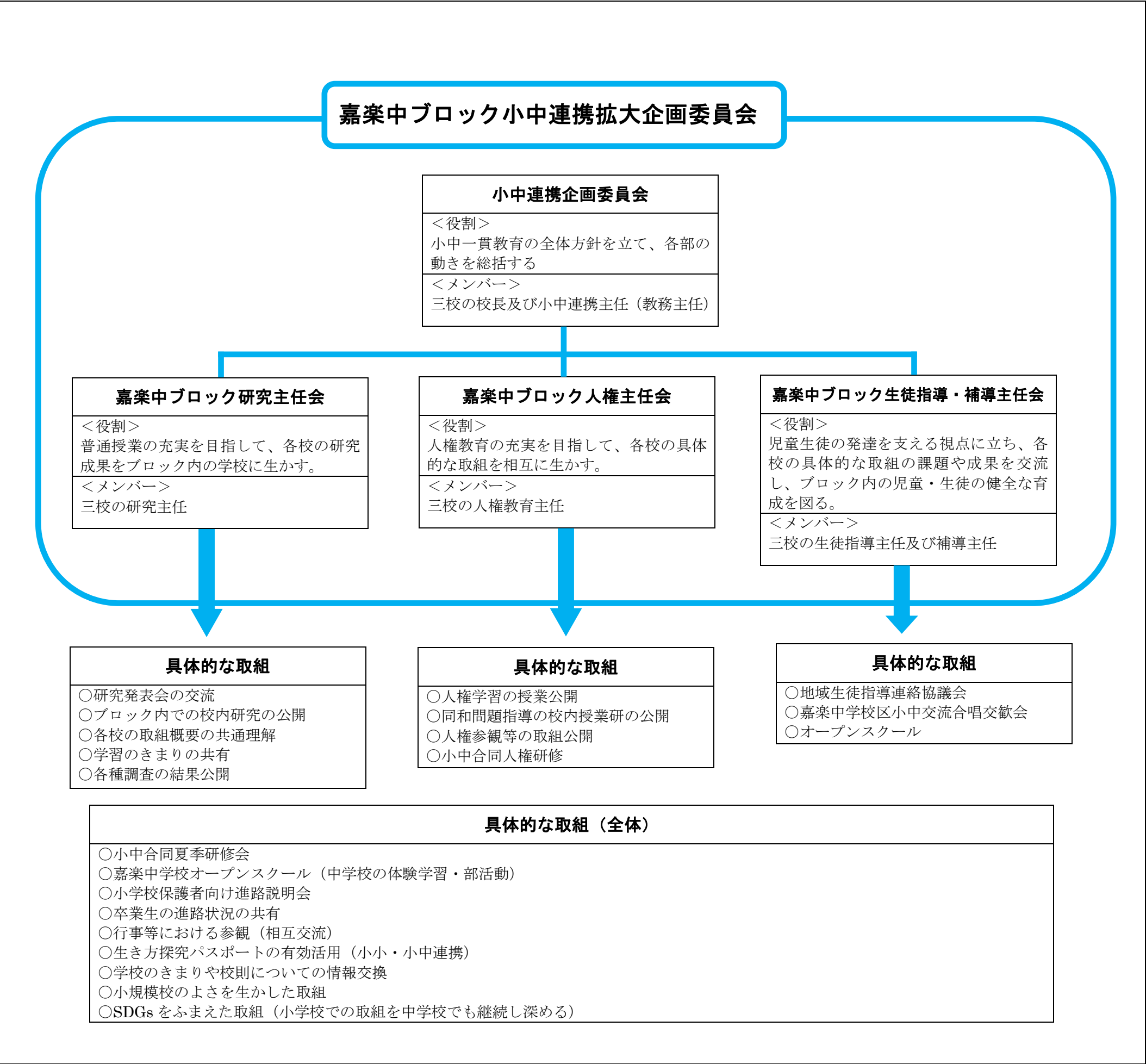
義務教育卒業時につけたい力								
目標をもって意欲的に学び続ける力								
学年または学年区分ごとにめざす姿						【中学校3年間を通して、目指す姿及び身に付けたい力】 将来の夢を実現するために、自らを磨き続けられる姿勢 社会につながる表現力～主体的に「考えて話す」生徒に～		
【小学校6年間を通して、めざす姿及び身に付けたい力】 ①学習規律を守り、知的好奇心をもって学習に向かう姿勢 ②基礎・基本の力を基に、自学自習できる力 ③自ら課題を見つけ、自ら課題解決の方法を定め、課題解決に向かって努力する姿								
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動								
学力向上			幅広い学力		多様な実態への対応			
・普通授業の充実 ・ICT教育の充実 ・あしあと検定の実施（学習意欲の向上） ・帯時間の活用（朝読書、朝／昼学習など） ・内部検定に挑戦（漢字力・計算検定など） ・放課後補習や長期休業中の学習会（ <u>子どもの実態に応じて実施</u> ）			・社会に開かれた教育活動推進事業 ・長期宿泊学習 ・修学旅行 ・社会見学 ・体験教室 ・GIGA端末の多様な活用 ・総合的な学習の時間 （地域教材の開発）		・LD等通級指導教室 ・ことばときこえの教室 ・総合育成支援員等 ・ボランティア配置 ・SCの活用			
実態把握						学力向上		
・ケース会議等の情報交流 ・個別の指導計画の作成 ・個の課題に応じた指導計画の作成 ・授業振り返りシート						・主体的・対話的で深い学び ・こじか検定（あしあと検定・英語検定） ・ICT教育の充実 ・土曜自主学習会、放課後学習会の充実 ・長期休業中学習会		
						幅広い学力		
						・パフォーマンス実践 （プレゼン大会・ミニ授業大会） ・こじか検定（めんせつ検定） ・総合的な学習の時間 ・修学旅行 ・GIGA端末の多様な活用 ・理科自由研究相談会		
						将来展望		
						・進路講話 ・キャリア教育 （生き方探究チャレンジ体験学習 およびSDGs学習）		
<中学校ブロックとしての取組>								
普通授業の充実（アクティブラーニングの推進）・帯時間の活用・放課後補習・長期休業中学習会・全国学力・学習状況調査、学習確認プログラム・プレジョイント・ジョイントプログラムおよび学力実態調査の結果分析・体験活動の充実（総合的な学習の時間、長期宿泊学習および校外学習等）・学習のきまり・家庭学習の充実・道德教育の充実・ICT教育の充実（GIGA端末の有効活用）								

義務教育卒業時につけたい力																			
自分も人も大切に作る行動がとれる力																			
学年または学年区分ごとにめざす姿			人の考えを比較しながら聞いて、共感・賛成・反対などの意見を伝えようとする。		人の考えを聞いて、認め合ったり、折り合いをつけたりしてよりよい解決策を生み出す。		民主的な手法により、様々な意見から解決策を案出し、自らの責任において、行動する。		自分で責任ある行動をとると共に、人に必要なことや考え、気持ちなどが分かるように想像し、共感的に理解する。										
自分の思いを言葉で伝え、人の思いを聞く。																			
小1（1年）		小2（2年）		小3（3年）		小4（4年）		小5（5年）		小6（6年）		中1（7年）		中2（8年）		中3（9年）			
取組・活動																			
実態把握		道徳教育の充実		縦割り活動 （たてわり活動）		児童会の取組		体験活動		規範意識の向上		自主活動			つながり			人権教育の 充実	
・生活調べ		・道徳の時間の充実 ・道徳の価値項目を 意識した行事		・縦割り集会 ・縦割り遠足 ・縦割り掃除 ・縦割り遊び ・縦割り給食		・児童会本部委員会の活動充実 （自主的な活動） ・児童集会の開催 ・人権集会の開催		・ボランティア体験 ・福祉施設等訪問 ・地域の方との交流		・あいさつ運動 ・めざす子ども像の明示 ・常に人権の視点を踏まえた言動		・朝学活の充実 ・終学活の充実 ・各学年での行事や発表の企画 ・ノーチャイム			・生徒集会の取組 ・全校集会の取組 ・みんなで作る部活動			・道徳の充実 ・人権問題学習や人権学習の充実	
＜中学校ブロックとしての取組＞																			
人権に関する授業研修（道徳・総合的な学習・社会科）・互いを尊重する言葉がけ（呼称等）																			

義務教育卒業時につけたい力											
仲間と支え合い繋がり合える力											
学年または学年区分ごとにめざす姿			相互に助け合いながら、一つの作品や活動を成し遂げることができる。			自ら企画し、仲間と協力し合っ て、目的達成のために行動する。			広く様々な立場の人々の人権に配慮し、民主的な手 順に従って、仲間と支え合いながら活動する。		
学級・学年の友達と仲良く遊ぶ。											
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）			
取組・活動											
実態把握			協働活動			話し合い活動の充実			実態把握		
・いじめアンケートの分析 ・クラスマネジメントシートの分析 ・教育相談週間			・縦割り活動 ・班活動（学級、宿泊行事など） ・係活動 （学級・運動会・学習発表会など）			・授業場面で （ペアトーク、グループトーク、ディベート、 司会を立てて） ・学級会、委員会活動の機会			・いじめアンケート の実施 ・クラスマネジメン トシートの分析 ・教育相談週間		
									協働活動の 発展		
									・学校祭（文化の部/ 体育の部の取組） ・合唱交歓会 ・パフォーマンス実 践（ミニ授業大会） 司会・進行		
＜中学校ブロックとしての取組＞											
中学：生き方探究チャレンジ体験での中学生との関わり						オープンスクール 合唱交歓会			【嘉楽中学校の取組】 ①リーダーを育てる集団づくり ②生徒会本部を中心に各種委員会の取組の充実		
嘉楽中生徒会活動との連携 エコ活動（エコキャップ集め）											

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）	
学 習	学習に向かう姿勢（学習規律）									
	休み時間に次の時間の学習の準備を整える。						チャイムですぐに学習を始められるように準備をする。			
	相手を意識した話し方・聴き方・学び合い									
	相手を見て終わりまで	大事なところを落とさず		目的や意図に応じた的確に		自分の考えをもち主体的に話し、聴き合う事で学び合う				
	学びのあしあとを残すノート作り									
	【ノートの基本】 ①ていねいな字で濃く書く。②日付・ページ数を書く。③学習のめあてをきちんと書き、めあてに対する振り返りをする。④色を変えるなどして、分かりやすくまとめる。⑤下じきをしく。				【ノートの基本】をふまえた上で 大事なことを書き足す。めあてに対する振り返りを書く。各教科、考察や学習のポイント、先生や友達の発言を付け加えるなどして、自分の学習のあしあとを残し、見直しに活用できるノート作りをする。			【生徒による授業実践】 人に教える授業実践において、ノートづくりの計画性および探究的で表現力の工夫を身に付けさせたい。		
	自学自習の姿									
	宿題や読書を進んでする。		宿題や読書、自主学習を進んでする。		宿題や読書、自主学習に自ら創意工夫して取り組む。					
生 活	きまり（ルール）を守る姿勢									
	あいさつ	大きな声で			目を見て・心をこめて			自らすすんで		
	時間	ベルの合図を守り行動			時計を見て行動		自ら時計を見て行動		見通しをもって行動	
	きれいに	身の回りをきれいに			学校をすすんできれいに			地域社会をすすんできれいに		
	モノを大切に	自分のモノを		友達のモノも		学校のモノも		公共のモノも		
	人を大切に	やさしい言葉づかい		思いやりのある行動		相手のことを考えた行動・言動		他者理解をもとにした集団づくり		
行 動	人を大切にする力									
	・友達と一緒になかよく遊ぶことを楽しむ。 ・相手の話を最後まで聞く。 ・「ごめんね。」「ありがとう。」を言う。 ・ふわふわ言葉を使って、話すようにする。	・友達と一緒になかよく遊べる遊びをみんなで考えて遊ぶ。 ・知っている人には大きな声であいさつができる。 ・ふわふわ言葉を使って、話すようにする。	・みんなで学年やクラスの目標（約束）を話し合って考える。 ・相手の思いや考えを受け入れる。 ・解決につながる言葉を自分から言う。	・みんなで話し合っで決めた学年やクラスの目標（約束）を意識して守る。 ・笑顔であいさつができる。 ・その場や相手に合った言葉で自分の思いを話そうとすることができる。	・高学年として、学校全体や友達のために、自分ができることは何かを考えて行動しようとする。 ・相手の思いや考えをイメージし、行動する。 ・自分だけでなく、集団の一員として解決につながる行動をする。	・小学校の最高学年として、学校全体や地域、保護者の人や友達のために自分ができることを率先して取り組む。 ・誰に対しても自分からあいさつができる。 ・お互いに相手のことを思いやった言葉で話すことができる。	・一人一人の違いを受け入れ、お互いを大切にする。	・自他の違いを認め、人の喜びや悲しみを共感的に受け止める。	・自分を大切にすると共に、人の気持ちや立場を尊重した行動をとる。	

小中一貫教育推進体制



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- 学校だよりの地域回覧
- 中学校ブロック内での学校だよりの交流
- 学校運営協議会・地域諸団体・保護者等との合同事業や学校評価アンケート結果の考察
- 学校HPのリンク